

映画「おくりびと」がアカデミー賞を受賞、スクリーンに映し出される美しい庄内平野、雄壮にそびえる鳥海山、俳優人が語る庄内弁が、日本だけでなく世界の映画ファンを魅了している。「おくりびと」の撮影では酒田ロケーションボックスがロケ支援の活動を行った。そして、最近では酒田を訪れる観光客を迎え入れる「むかえびと」としての新たな活躍にも広がっている。

## 映画「おくり 「むかえび

庄内地方を舞台にした映画「おくりびと」が昨年9月に公開され、今年2月に第81回アカデミー賞外国語映画賞を受賞した。アカデミー賞にノミネートされた時には「ひょっとしたら」と思っていたが、いざ受賞が決まると「うれしい」の一言に尽きる。

NPO法人酒田ロケーションボックスは「おくりびと」の撮影にあたって、映画にふさわしい撮影地の推薦や紹介をはじめ、エキストラの募集、撮影時の裏方業務まで全面協力した。この映画が世界的に評価された映画となったことを誇りに思うと同時に、この作品に携わることができたことを心から光榮に思う。

### 酒田を元気にしたい

酒田ロケーションボックスがこの映画に携わるきっかけとなったのは、庄内映画村株式会社の宇生社長との出会いである。庄内映画村株式会社は、鶴岡市羽黒町に松ヶ岡と石倉の2つのオープンセットを構え、これまでに映画「山桜」、「ICHI」「ウエスタン・スキヤキ・ジャンゴ」など次々と庄内に映画を誘致してきた。その宇生社長から直接、映画に対する思いや映画を通じて地域・山形を元気にしたいという思いを聞き強烈な印象を受けた。ちょうどその時、宇生社長から映画「おくりびと」の撮影地として酒田市が候補地のひとつになっており、もし撮影地に決まったら撮影協力者を紹介してほしいとの話があった。

宇生社長の思いに触発されると同時に、映画を切り口にして「酒田の街ににぎわいを作る絶好のチャ

ンス、自分達でやってみよう」ということになり、現在のメンバーが集まった。メンバーは地元の企業に勤務する会社員、寿司屋、酒屋などの若手経営者たち。しかし、メンバーの誰一人としてこれまで映画業界に携わった者はなく、まして撮影に関する専門知識は無い素人であった。しかし、メンバーたちは、全国に映画を通して酒田、庄内の魅力を発信したいという思いだけで動き出した。

### 酒田を紹介したい

映画「おくりびと」は楽団のチェロ奏者をクビになり山形に帰郷し、その後葬儀の際に遺体をひつぎに納める仕事に就いた男性を主人公に、人間の尊厳や家族のきずなを描いた作品である。

当然、映画では葬儀のシーンや納棺のシーンが登場する。そのために、撮影場所として葬儀を出す家の選択や交渉、公共施設である「火葬場」の確保、平日のエキストラの手配などがあった。まずそれらを行うことが、われら地元のメンバーの役割となった。

しかし、撮影場所を見つけることや撮影許可の交渉は想像以上に大変なことであった。また時間も限られていた。酒田がメイン撮影地と決定し、2ヶ月後には滝田監督、俳優、撮影スタッフ80名近くが酒田入りするスケジュールが決定していた。

メンバーは皆地元で暮らし、地元を知り尽くして

## びと」そして と」として

いるとはいえ、撮影スタッフのイメージ通りの建物を探すことはなかなか難しいことであった、またイメージ通りの建物が見つかって「葬儀のシーンの撮影」という理由でなかなか交渉が進まなかったこともあった。メンバーたちは、休日や仕事の合間に、撮影地の確保に奔走した。

そして、制作会社の一言がメンバーの思いを奮い立たせた。それは、「最終的に監督の意向とする撮影地がどうしても酒田で見つからない場合は別地域での撮影も考える」という一言だった。また制作スタッフは、酒田以外の地域で候補地を探し始めているという話を耳にした。酒田の街並みが全てスタジオになってほしいという思いから、どうしても全ての撮影を酒田でやってほしい、また酒田の風景、街並、そして市民（エキストラ）を全国に紹介したいと思っていたからだ。

### 「むかえびと」としての新たな支援

撮影に協力するなかで、酒田の新たな魅力も見つけることが出来た。酒田の歴史的な建物や美しい街並みなど、酒田の風景の素晴らしさをあらためて認識した。また多くの市民が撮影場所の提供、エキストラ出演など協力してくださった。この酒田市民の存在を忘れてはいけないと思っている。

撮影後このロケをきっかけにあつまったメン



NPO法人酒田ロケーションボックス 理事長  
**萩原 吉郎**（はぎわら・きちろう）

1952年、山形県酒田市生まれ。  
高千穂商科大学（東京）に進み、卒業後東京で就職、  
26歳で酒田にUターン。地元企業（株）小松写真印刷  
青年会議所活動などを通じて地域おこし活動に参加。  
2007年12月に設立された、フィルムコミッション「酒  
田ロケーションボックス」の理事長に就任。

酒田ロケーションボックス ウェブサイト  
<http://www.sakata-lb.com/>

バーたちは、さらに酒田の様々な魅力やすばらしさを全国に発信したい、酒田の歴史的なまち並みや建造物を貴重な財産として保存し、世界に発信できるようなまちにしたいと、酒田ロケーションボックスはNPO法人として発足した。

いま、国内外の注目を集める映画「おくりびと」のロケ地を見ようと、大勢の方が酒田を訪れている。

酒田ロケーションボックスが作成した「おくりびと」のロケ地マップを手に、酒田の街を歩く人の姿も見られる。舞台の一つになった、日和山の旧割烹小幡には連日多くの方が足を運んでいる。

全国に、世界に酒田の魅力を発信する絶好の機会、訪れた人達に良い印象をもらえるよう「むかえびと」として観光客のもてなしに力を入れ、魅力をアピールしていきたい。そして歴史的な街並みや建造物を貴重な遺産として保存することによって、酒田らしい景観を「守り」、「創り」、「育て」、酒田の文化や歴史を活かし、これからさらに「まち中がスタジオ」になるようなまちづくりを進めていきたいと思う。



「おくりびと」の撮影に使われた「旧割烹小幡」